



(1面より)  
特に首都圏統一帰宅困難者徒歩訓練では千葉コースの実行委員長団体として行政・連合・生協・様々なNGOなど垣根を越えた団体と協力し、コース全体の取りまとめを行っています。  
9月25日の訓練当日には屋食エイドステーションの運営に、会員や学生、職員が積極的に参加し、災害への意識を強めています。  
また様々な団体と一緒にコースを作っていく中で絆が生まれ、いざというときに役立つ関係が構築されていきます。その意味でも東京災害ボランティアネットワークに東京YMCAが参加している意義は大きいと感じています。

のようにピリオド打ち、次のステージに引き継いでいくのか。  
・関わることが必要であるか。またそれが自立を妨げないか。  
・他者の尊厳と自立を尊重する援助をするという視点を常に忘れて

いけないか。  
・日頃から地域を知り、その中で自分たできることは何なのか、果たすべき使命は何なのか。それを忘れないで備えを続けているか。  
これらを常に念頭に置きながら、行動することが大切だと感じています。

### 徒歩訓練に700人参加

東京災害ボランティアネットワーク主催の「2010年首都圏統一帰宅困難者支援訓練」が9月25日に開

催され、東京YMCAは千葉コースの実行委員長団体として準備から実施までを担当した。

徒歩訓練は日比谷公園を同時にスタートし、神奈川、西東京、埼玉、千葉の4つのコース約20キロを歩いた。参加者は延べ2000人弱の方が参加した。

千葉コースでは700人余りが参加され、日比谷公園から築地本願寺を経て屋食エイドステーションの東京YMCAに到着したのは約500人となった。

東京YMCAでは朝早くから70人の会員、職員、学生の皆さんが準備をしてくだり、アルファ化米と豚汁などで参加者を温かく暖かく迎えた。

江東ワイズメンスクラブネットワークや幼稚園保護者の皆さんの協力で、前日から準備した沢山の美味いトン汁は、参加者にもとても好評であった。

当日は朝からの激しい雷雨にもかかわらず、たくさんのお客さんや保護者の皆さんが、傘やレインコートを持って駆けつけてくれたことは、一番の感動であった。

ゴール前で江東YMCAの皆さんのひととき大きな声援を誇らしく感じながら、無事にタスキをつなぐことができた。

ほとんどお話をしたことなかった園児のお母さんから、前日に激励の言葉を



屋食のアルファ化米と豚汁を配る

近いうちに訪れるといわれている首都圏を襲う大震災に備えて、今私たちにできることは何なのか、果たすべき使命は何なのか。それを忘れないで備えを続けているか。

9月23日に実施した「インターナショナル・チャリティーラン」。

大雨の中、企業・団体・ワイズメンスクラブ・東京YMCAの幼稚園・学校・所属プログラムなどから、年齢や国籍を問わず、ランナー・ボランティアとして約1000人が参加した。

保護者の応援ランの励みにチャリティーラン

スタート直前、屋根代わりのブルーシートの端から冷たい雨が滴るように流れ落ちるのを見て、その場に立ち止まる人が続出した。

7月に主人の転勤が決まり、1学期の修了式に涙のお別れをしたのに、転勤が突然撤回されて、皆さんにご迷惑を掛けてしまったため、お詫びの気持ちも込めて、夫婦でチャリティーランに参加を決めた。

ジョギングは久しぶりだったが、夏の早朝に息子がちと公園を訪れたり、幼稚園のラン参加者の皆さんと夜集まったりして、練習を重ねた。

当日は朝からの激しい雷雨にもかかわらず、たくさんのお客さんや保護者の皆さんが、傘やレインコートを持って駆けつけてくれたことは、一番の感動であった。



ランナー・応援団が勢ぞろい=江東チーム=

### 信越妙高クラブ設立5周年 地元基盤に支援活動進む

10月16日に実施した、「信越妙高ワイズメンスクラブ設立5周年記念特別例会」は、50・60周年のクラブが多々ある中、おこがましく思いながら企画でしたが、コンサート112人、記念例会42人、祝会54人、キャンプファイヤ137人の参加ですばらしいものにさせて頂いた。

また記念例会では、来賓として妙高市副市長のご出席も頂いた。この5年間、絆余曲折を経ると共に暗中模索ながらもYMCAサービスタとして、花壇作り・下校刈りなど妙高高原ロッジの施設外整備や、CS事業としての障害者施設「りんどうの里」の施設利用者と共に織りや蕎麦の栽培を行う等の支援活動に努めてきた。

「信越妙高ワイズメンスクラブ設立5周年記念特別例会」は、50・60周年のクラブが多々ある中、おこがましく思いながら企画でしたが、コンサート112人、記念例会42人、祝会54人、キャンプファイヤ137人の参加ですばらしいものにさせて頂いた。

今後も「継続は力なり」を信じ、妙高高原ロッジの利用拡大と地域への融和を計ることを目標にワイズメンの増員に努め、10周年20周年と良き歳を重ねたいと考えているところであり、今後とも、当クラブへのご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

全国的なYMCAで活動するボランティアリーダー100人以上と出会い、熱く語り合った3日間。全国のリーダーとの討議の他、基調講演やワークショップの開催も予定されています。

全国的なYMCAで活動するボランティアリーダー100人以上と出会い、熱く語り合った3日間。全国のリーダーとの討議の他、基調講演やワークショップの開催も予定されています。

全国的なYMCAで活動するボランティアリーダー100人以上と出会い、熱く語り合った3日間。全国のリーダーとの討議の他、基調講演やワークショップの開催も予定されています。

全国的なYMCAで活動するボランティアリーダー100人以上と出会い、熱く語り合った3日間。全国のリーダーとの討議の他、基調講演やワークショップの開催も予定されています。

### 日本Y同盟表彰伝達式 Yと関わり25・50年継続

会員部は10月13日東陽町センターで、「日本YMCA同盟表彰・記念品伝達式」を行い、25年継続会員賞3人、50年継続会員賞3人が出席されました。

このたびは日本YMCA同盟から50年継続会員賞をいただき、まことにありがとうございました。ありがとうございます。

私は、1954年に東京YMCAが山手センター内に開設した「山手学舎」の一期生として卒業迄の2年間お世話になりました。

山手学舎は都内のいろいろな大学の学生十数人の小さな寮ですが、大勢の会員やスタッフの皆様に支えられ、昨年55周年を迎えることができました。現在の舎生諸君も学業の傍ら、YMCAの活動に積極的に参加しています。

私自身は会員期間が長いだけでYMCAに対し何の貢献もしておりませんが、伝達式での受賞の皆様のお話では、YMCAとの最初のお話にもいろいろな形

山手学舎は都内のいろいろな大学の学生十数人の小さな寮ですが、大勢の会員やスタッフの皆様に支えられ、昨年55周年を迎えることができました。現在の舎生諸君も学業の傍ら、YMCAの活動に積極的に参加しています。



前列中央6人が受賞者の皆さん

### 東京1フロストパレィー スタッフ構成も魅力の素

残暑の厳しい夏がようやく去った10月、紅葉の時期に合わせ、ファミリー、父と子、子ども対象の日帰りなど、各種週末キャンプを行った。

それはスタッフの構成にまつている、フロストパレィー育ちのスタッフも

プログラムの現場を見渡すと若いスタッフばかりだが、事務機能が集中するメインオフィスや施設のメンテナンス、清掃の短期キャンプでは、二

10月9日、生駒山麓公園野外活動センター(奈良県)で「全国YMCAリーダー研修会」が実施され、東京YMCAから5人が参加した。



東京1フロストパレィー

11月の一時帰国の折には、来年・再来年を見越して、広報活動やユーザーのアンケートも積極的に予定されている。

大切なこと、や理想のリーダー像を話し合う中で、他のリーダーが持つ価値観や考え方に触れ、考えを深めていく時間はとても有意義でした。

大切なこと、や理想のリーダー像を話し合う中で、他のリーダーが持つ価値観や考え方に触れ、考えを深めていく時間はとても有意義でした。

大切なこと、や理想のリーダー像を話し合う中で、他のリーダーが持つ価値観や考え方に触れ、考えを深めていく時間はとても有意義でした。

大切なこと、や理想のリーダー像を話し合う中で、他のリーダーが持つ価値観や考え方に触れ、考えを深めていく時間はとても有意義でした。

大切なこと、や理想のリーダー像を話し合う中で、他のリーダーが持つ価値観や考え方に触れ、考えを深めていく時間はとても有意義でした。